

畜産と環境保全

講師名	小野寺 晃	実務経験等	食肉の処理解体加工会社での勤務経験を活かし、畜産での環境汚染防止と持続的な畜産経営の発展、家畜糞尿の適正処理、汚水や臭気対策等に関する講義を担当している。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	「新・畜産環境保全指導マニュアル」中央畜産会 刊行自作プリント					
授業の目的	畜産による環境汚染防止と持続的な畜産経営の発展を期するため、家畜ふん尿の適正処理と有効活用、汚水や臭気対策などに係る専門知識を習得する。					
授業の到達目標	家畜排せつ物を適正に処理し、資源としての環境利用を促進するために、家畜排せつ物の堆肥化及び汚染処理技術について理解を深める。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月16日	1 畜産環境問題の現状と課題(1)	畜産に起因する環境問題の発生について理解を深める。	2	講義	
4月23日	2 畜産環境問題の現状と課題(2)	農業環境三法と家畜ふん尿処理・利用の基本的な考え方について理解を深める。	2	講義	
4月30日	3 家畜ふん尿の基礎知識(1)	家畜ふん尿の排せつ量、畜種別ふん尿の特性について理解を深める。	2	講義	
5月7日	4 家畜ふん尿の基礎知識(2)	家畜ふん尿処理における敷料・副資材の種類と特性について理解を深める	2	講義	
5月21日	5 家畜ふん尿処理技術(1)	固液分離処理、堆肥化処理、乾燥処理について理解を深める。	2	講義	
6月3日	6 家畜ふん尿処理技術(2)	液肥化処理、尿汚水の浄化処理、焼却・炭化処理について理解を深める。	2	講義	
6月9日	7 堆肥化の基本(1)	堆肥化の目的、メカニズム、堆肥化を促進する条件について理解を深める。	2	講義	
6月22日	8 事例研究	県内の堆肥化施設、汚水処理施設の先進地事例調査によりモデル事例の理解を深める。	4	事例研究	レポート
6月23日	9 堆肥化の基本(2)	堆肥の腐熟、品質管理、品質基準、腐熟度判定について理解を深める。	2	講義	
8月24日	10 堆肥の利用(1)	堆肥の利用促進と施用効果について理解を深める。	2	講義	
8月26日	11 堆肥の利用(2)	不良堆肥の多用施用による影響、特殊肥料、草地における施用の考え方について理解を深める。	2	講義	
9月1日	12 堆肥の利用(3)	堆肥施設・尿溜施設の規模算定方法について理解を深める。	2	講義	
9月9日	13 畜産汚水の処理	畜産汚水の処理について理解を深める。	2	講義	
9月15日	14 畜産分野の悪臭・衛生害虫とその対策	悪臭防止と衛生害虫の防除について理解を深める。	2	講義	
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

成績の評価は、定期試験の成績に、学習態度、出席状況等の平常点を加味して総合的に行なう。
評価割合:筆記試験70%、平常点30%(出席状況・学習態度20%、提出物10%)

履修に当たっての留意点等

授業は、使用教科書や他の参考資料を基に独自に教材を作成し配布するとともに、補足的に板書をして行う。
(参考図書:「家畜ふん尿処理・利用の手引き((財)畜産環境整備機構発行)」、「堆肥化施設設計マニュアル(中央畜産会発行)」ほか)